

三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業

四半期業務報告書 (2024年度 第2四半期)

2024年 9月



三浦下水道コンセッション株式会社

目次

1.事業実施状況	1
1-1.事業概要	1
1-2.運営体制	2
1-3.内部統制	5
2.業務実施状況	6
2-1.経営に関する実績	6
(1) 環境対策	6
2-2.改築及び増築に関する実績	6
(1) 土木建築工事	6
(2) 電気・機械工事	7
(3) 管路施設工事	8
(4) 第2期改築計画の策定	8
(5) 増築	8
2-3.維持管理に関する計画	9
(1) 処理場・ポンプ場の維持管理	9
(2) 管路の維持管理	10
2-4.地域貢献に関する計画	11
(1) 地域貢献	11
(2) 広報活動実施計画	11
(3) 地元企業の利活用に関する事項	11
2-5.任意事業に関する計画	12
(1) 下水道資源を活用した高付加価値作物の生産事業	12
(2) B-DASH を活用した省エネ水処理技術導入	12
(3) 技術実証フィールドの提供	12
3.財務管理	13
3-1.財務状況	13
3-2.2024年度 KPI（財務管理目標値）の状況	13
4.2024年度第2四半期時点での KPI（財務管理目標値以外の目標値）の状況	14

1.事業実施状況

1-1.事業概要

1. 事業名称

三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業

2. 施設の規模等

(1) 1日当たり処理能力

8,050 m³

(2) 管路の総延長

59 km

(3) 処理区域

三浦市東部処理区



図 1-1.三浦市公共下水道（東部処理区）事業エリア

1-2.運営体制

運営体制は以下の通り。

(1) 運営管理体制の強化

昨年度構築した運営管理体制をより強化するため、今年度は次の6点に取り組んでおり、進捗は以下のとおり。

① 体制変更の定着による業務改善

体制変更の定着により、各技術部間、管理部・各技術部間でのクロスチェック、統括責任者のダブルチェックに取り組み、チェック体制の強化等の業務改善を図った。

② 業務の標準化

契約書情報のデータベース化を完了した。その他情報のデータベース化を進めている。積算業務のマニュアル作成に取り組んでおり、業務の標準化を目指す。

③ 運営管理経験者による担当職員の研修育成

運営管理経験者が、主にOJTにより日常的にノウハウの共有を行い、職員の育成を図った。第1四半期に続き、総務経理の業務につき、勉強会を毎月継続して実施している。

④ 管理部業務のマニュアル化

経理業務のマニュアルを作成しており、担当変更に伴う引継ぎ時間の短縮を行う予定である。

⑤ 地元企業等の育成支援として、当社及び株主企業による研修・訓練プログラムの実施

実施内容・実施時期の検討を行い、地元企業等に向けた専門業者による下水管調査の研修を10月に実施する予定である。

⑥ 遠隔監視システム、水質自動制御システムなどのICT投資による業務の効率化

遠隔監視システムは機器の製作を進めており、1月に工事着手を予定し、第4四半期に工事完了見込みである。

水質自動制御システムは、10月に工事着手予定。今後の実運用までに送風機のインバーター設備を修復する必要がある。

デジタル情報基盤の導入整備を進めており、保存するデータ類の検討を行っている。

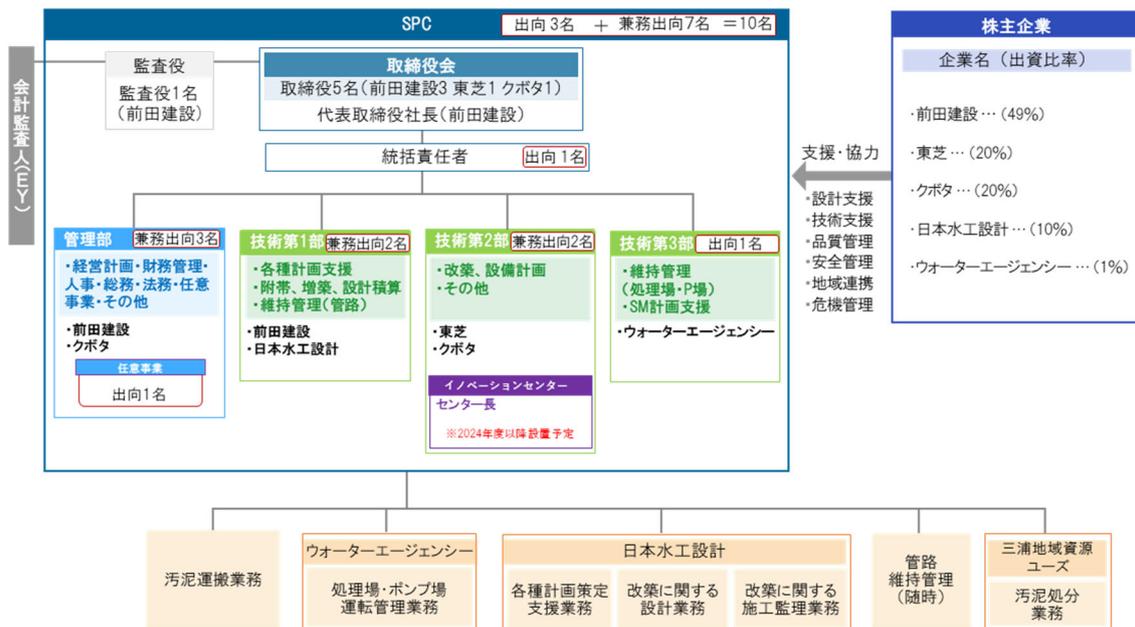


図 1-2.三浦下水道コンセッション株式会社の組織体制

前田建設	東芝	クボタ	日本水工設計	ウォーターエージェンシー
<ul style="list-style-type: none"> ■ コンセッション運営の知見提供 ■ 土木・建築の改築計画等の策定支援 ■ 事業運営支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重電設備企業の知見提供 ■ 電気設備等の最適化・改築計画等の策定支援 ■ 改築・修繕支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水環境設備企業の知見提供 ■ 機械設備等の最適化・改築計画等の策定支援 ■ 改築・修繕支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水関連コンサル企業の知見提供 ■ スtockマネジメント計画等各種計画策定・設計 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本施設維持管理等の知見提供 ■ 運転管理業務、維持管理・修繕計画等策定支援 ■ 運転管理

(■ : 役割 ■ : 責任)

図 1-3.株主企業の責任・役割

(2) 災害時・緊急事態発生時の防災体制

災害時や緊急事態の発生時には、構成員・地元企業等との一体的な対応体制を構築し、復旧活動の対応を行う。巨大地震やその影響による津波、台風や、豪雨等による高波、高潮等を想定し、三浦市 BCP 及び国交省下水道 BCP 策定マニュアルを踏まえ策定した本事業の BCP を、いつ発動させても対応が可能な状態を維持する。

実施予定の各種訓練の実施状況は以下のとおりである。

訓練名称	訓練内容	予定時期	実施済
BCP 教育訓練	講習会等を開催し、BCP の位置付けや内容及び活用方法についての MSC 職員の理解促進を図るとともに、BCP の見直しに向けた意見収集の場として活用する。	4月	○ (5/14)
安否確認 訓練	・MSC 職員は、携帯電話やメール等により安否を連絡 ・安否確認担当者は、安否確認の回答をとりまとめ	4月	○ (5/28)
参集訓練	・地震（震度 6 強）を想定した SPC 社員の非常参集 ・勤務時間外（早朝 7 時あたり）に、震度 6 強の地震が発生し、市内交通機関が利用できない状況を想定し、MSC 職員が自宅や通勤途中から徒歩又は自転車により東部浄化センターに参集または移動経路を確認する訓練	9月	○ (9/27)
BCP 対応 訓練	・株主企業である前田建設の BCP 訓練に参加。 ・安否確認担当者は、安否確認の回答をとりまとめ。	11月	—
図上訓練	・非常時対応計画等の対应手順等、訓練シナリオを事前に提示して、手順通りに対応を行う ・処理場、ポンプ場維持管理業務委託業者と合同訓練を実施	2月	○ (9/19)
実地訓練	・東部浄化センター、金田中継センターにおける緊急点検調査及び措置における実地訓練	9月	○ (9/19)
	・管路の緊急点検調査及び措置の実地訓練		○ (9/19)
情報伝達 訓練	・市下水道対策本部と SPC 災害対策本部との情報伝達訓練 ・構成企業、委託業者との情報伝達訓練	未定	—

(3) 委託等の実績

三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業 年度経営計画書（2024（令和 6）年度）
（以下、「2024 年度経営計画」とする。）に記載の通り、下記企業に業務委託を行った。

運転管理業務委託 : (株)ウォーターエージェンシー
 計画策定支援委託、設計施工監理業務委託 : 日本水工設計(株)
 汚泥処分業務委託 : 三浦地域資源ユーズ(株)
 汚泥収集運搬業務委託 : 田中石材土木(株)
 管路維持管理委託 : 管清工業(株)、相模開発(株)

1-3.内部統制

内部統制の基本方針、企業行動憲章を定め、内部通報窓口を設置。

また、透明性と公正性が高いコーポレートガバナンスと、企業倫理に優れた内部統制として管理部と技術部（3部門へ分掌）を設置。

- ・1次モニタリングとして、業務改善会議（1次）を毎月実施。
- ・2次モニタリングとして、第2四半期業務改善会議（2次）を10月に実施予定。

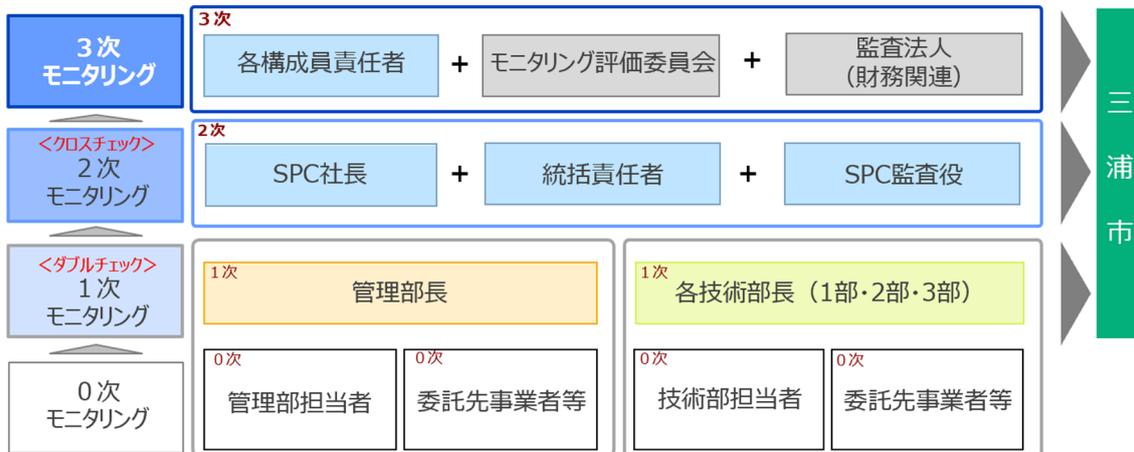


図 1-4.セルフモニタリング体制図

会社法、社内規程に基づき取締役会を実施した。

- ・取締役会を9月に1回実施(9/24)

2.業務実施状況

2024 年度経営計画で策定した計画の実施状況は以下の通り。

なお、後述する各節で示す計画と実績の凡例については、以下のとおり。

【凡例】

計画：2024 年度経営計画で策定した計画

実績：2024 年度第 2 四半期の実績

今後：2024 年第 3～4 四半期の実施予定

2-1.経営に関する実績

(1)環境対策

6 月より稼働を開始している太陽光発電設備について、東部浄化センターの消費電力のうち、約 25%を賅っている。

計画	計画予測値の精度を実測検証することにより定量的に電力購入量の削減効果をモニタリングする
実績及び今後	6 月～9 月の東部浄化センターの消費電力を、太陽光発電により約 25%を賅った引き続き電力購入量の削減効果をモニタリングし、年度で約 20%の購入電力量減の想定を達成できるか確認していく

2-2.改築及び増築に関する実績

(1)土木建築工事

土木建築工事について、計画に対しての第 2 四半期の実績及び今後の見込みは下記のとおりである。また、下記工事に付随した施工監理業務委託を日本水工設計（株）へ発注予定である。

工事対象		備考	第 2 四半期の実績 及び今後の見込み
東部浄化センター			
1	管理本館 土木内部	マンホール蓋φ600 (4 箇所)の交換	第 3 四半期発注予定 備考:(1)-1.3.4.5 について、 まとめて契約する
2	地下オイル タンク	自家発電設備の更新に 伴い不要となった地下オイ ルタンクの処分	進行中の自家発電設備更新 工事内で残置とし、別途の工 事は行わない
3	汚泥処理棟 土木内部	マンホール蓋φ600 (1 箇所)の交換	第 3 四半期発注予定 備考:(1)-1.3.4.5 について、 まとめて契約する
4	1 系水処理 土木内部	マンホール蓋φ600 (17 箇所)の交換	
5	2 系水処理 土木内部	マンホール蓋φ600 (1 箇所)の交換	
金田中継センター		工事予定なし	

工事対象		備考	第2四半期の実績 及び今後の見込み
マンホールポンプ (MP) 等			
6	下宮田 3 号 ポンプ室	建築・土木付帯	内装 (グラスウール) の更新 圧力扇 (ファン) 、給水管の更新 第2四半期に発注済み 第4四半期に完成予定 備考:左記2工事は、まとめて 契約した
7		建築設備	

(2)電気・機械工事

電気・機械工事について、計画に対しての第2四半期の実績及び今後の見込みは下記のとおりである。また、下記工事に付随した施工監理業務委託は日本水工設計 (株) に発注予定である。

工事対象		備考	第2四半期の実績 及び今後の見込み
東部浄化センター			
1		自家発電ユニット	設備更新。 2ヶ年工事の2年目。 進捗：機器製作中 着手：11月予定 完成：第4四半期予定
2	管理棟	監視装置ユニット (附帯提案事業)	遠隔監視システム導入。 2ヶ年工事の2年目。 本工事は3契約に分けており、 各工事の状況は以下のとおり ① 監視その1工事 進捗：機器製作中 着手：1月予定 完成：第4四半期予定 ② 監視その2工事 進捗：機器製作中 着手：1月予定 完成：第4四半期予定 ③ 監視その3工事 発注：第3四半期予定 着手：1月予定 完成：第4四半期予定
3	水処理棟	凝集剤添加ユニット (附帯提案事業)	新設。放流水質の安定化 に寄与するもの。 発注：第3四半期予定 着手：3月上旬予定 完成：第4四半期予定
金田中継センター			
4	監視制御	監視制御ユニット2 (ポンプ場)	設備更新。 2ヶ年工事の2年目。 進捗：機器製作中 着手：12月予定 完成：第4四半期予定
5	上宮田 2 号 MP	電気設備	発注：第3四半期予定 着手：3月上旬予定 完成：第4四半期予定 備考：左記2工事は、1つの 工事に纏め、発注する
6	上宮田 4 号 MP	電気設備	
7	下宮田 3 号ポンプ室	自家発電ユニット	設備更新。 2ヶ年工事の2年目。 進捗：施工中 完成：第4四半期予定

(3) 管路施設工事

管路施設工事について、計画に対しての第2四半期の実績及び今後の見込みは下記のとおりである。なお、マンホールポンプ（MP）については、（2）電気・機械工事に含めて掲載している。

第2四半期に、新規の工事案件として、9箇所のマンホール蓋交換を行う「令和6年度金田蛭田地区マンホール蓋交換工事」を追加した（下表4）。

下記工事に付随した施工監理業務委託を日本水工設計（株）へ発注予定である。

工事対象		備考	第2四半期の実績及び今後の見込み
管路施設			
1	本管	布設替え：約 50 m	今年度は実施見送り
2		管更生：約 150 m	第3四半期発注予定
3	マンホール	蓋交換：52 箇所	第3四半期発注予定
4	マンホール	蓋交換：9 箇所	第2四半期に発注済み

(4) 第2期改築計画の策定

第2四半期は、日本水工設計（株）へストックマネジメント計画を発注した。

計画	今年度までに三浦市と調整して策定
実績及び今後	7月にストックマネジメント計画策定支援業務委託を日本水工設計（株）に発注し、点検調査計画、修繕改築計画を検討中 11月末までに、県に報告するストックマネジメント申請書（案）を市に提出

(5) 増築

増築について、計画に対しての第2四半期の実績及び今後の見込みは下記のとおりである。第2四半期は、工事1件と設計業務委託1件を契約し、第3四半期に工事1件が発注予定である。

計画	下記2件の工事を実施予定 ①令和5年度金田岩浦地区枝線管渠増築工事 ②令和6年度金田岩浦地区マンホールポンプ設置工事 下記1件の設計業務を実施予定（工事は令和7年度予定） ①令和6年度上宮田・下宮田地区枝線管渠増築工事詳細設計業務
実績及び今後	実績として、第2四半期に以下2案件を契約締結した。 ①令和5年度金田岩浦地区枝線管渠増築工事 ②令和6年度上宮田・下宮田地区枝線管渠増築工事詳細設計業務 今後の予定として、第3四半期に以下案件を発注予定している。 ①令和6年度金田岩浦地区マンホールポンプ設置工事

2-3.維持管理に関する計画

(1)処理場・ポンプ場の維持管理

処理場・ポンプ場の維持管理は、運営開始以前も本施設の運転管理を担ってきた（株）ウォーターエージェンシーに委託をしている。

<p>計画</p>	<p>(1) 体制 ・昨年度に引き続き、(株)ウォーターエージェンシーに委託 ・遠隔監視システムや凝集剤添加設備設置工事の実施</p> <p>(2) 水質管理 ・放流水質基準の遵守 ・水処理設備への計測装置や制御装置の設置</p> <p>(3) 汚泥管理 ・脱水ケーキ発生量の軽減、また悪臭等の苦情原因とならないよう、脱水汚泥の含水率を79%以下とする</p> <p>(4) 保守点検 ・昨年度に導入した維持管理支援ツール、デジタル情報基盤を活用し、日々の点検・調査結果や故障・修繕履歴、消耗品保管状況等を集約管理 ・集約した維持管理データを可視化し、機器の異常傾向など設備状態の見える化を図り、より効果的な修繕計画を立案・実行 ・年度経営計画書に記載の保守点検スケジュールどおりに点検</p> <p>(5) 労働衛生管理 ・「労働災害ゼロ」「車両事故ゼロ」を目指すために、日常からの安全衛生教育と年1回安全パトロールを実施 ・発注工事において、株主企業による安全パトロールを実施</p> <p>(6) エネルギー管理 ・年度維持管理計画書に記載のエネルギー削減を実施</p>
<p>実績及び今後</p>	<p>(1) 体制 ・昨年度に引き続き、(株)ウォーターエージェンシーに委託している ・遠隔監視システム及び凝集剤添加設備設置工事を実施予定</p> <p>(2) 水質管理 ・放流水質基準未達なし ・水処理設備への計測装置や制御装置の設置を予定</p> <p>(3) 汚泥管理 ・脱水汚泥の含水率について、79%以下を達成 ・引き続き、脱水汚泥の含水率を79%以下とする</p> <p>(4) 保守点検 ・日々の点検に維持管理支援ツールを活用し、情報を集約</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・年度経営計画書に記載の保守点検スケジュール通りに点検を実施 ・昨年度に導入したデジタル情報基盤を活用し、故障・修繕履歴、消耗品保管状況等を集約管理する予定 ・集約した維持管理データを可視化し、機器の異常傾向など設備状態の見える化を図り、より効果的な修繕計画を立案・実行予定 ・年度経営計画書に記載の保守点検スケジュール通りに点検を実施予定 <p>(5) 労働衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「労働災害ゼロ」「車両事故ゼロ」を目指すために、日常からの安全衛生教育を実施 ・年 1 回の安全パトロールを 7/18 に実施 ・発注工事において、株主企業による安全パトロールを 8/30 と 9/9 に実施 <p>(6) エネルギー管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度維持管理計画書に記載のエネルギー削減を実施 ・引き続き年度維持管理計画書に記載のエネルギー削減の達成を目指す

(2) 管路の維持管理

管路維持管理について、計画に対しての第 2 四半期の実績及び今後の見込みは下記のとおりである。なお、2024 年 6 月に計画の見直しを行っている。

維持管理項目		2024 年度計画 (6 月見直し)	第 2 四半期の実績 及び今後の見込み
管きよ点検			
点検	マンホール蓋点検工	—	8 月に契約を締結 10 月上旬より現地作業を開始予定
	マンホール目視点検工	95 基	
スクリーニング調査	管口カメラ	—	
	φ450 以下	763 m	
	φ500～φ700	2,778 m	
	φ800 以上	2,058 m	
維持修繕			
巡視		11.5 km	作業準備中 第 3 四半期に現地作業完了予定
伏越し清掃		—	—
本管修繕		—	—
マンホール修繕		22 箇所	現地施工完了
公共ます修繕		—	—

第 2 四半期に新たに発生した突発修繕業務はなかった。第 1 四半期に発生した 3 件の突発修繕業務については第 2 四半期までにすべて対応完了している。

第 2 四半期中、住民通報はなかった。

2-4.地域貢献に関する計画

(1)地域貢献

第2四半期は、11月のみうら市民まつりに向け、イベント内容の検討・準備を行った。

計画	① 職員による東部浄化センター周辺の海辺の清掃活動を実施 ② 三浦地域で開催されるイベントへ参加し、本事業のPR活動を実施
実績及び今後	① 6/7に清掃活動を実施 ② 11/17のみうら市民まつりについて、企画の概要を決定 今後も、イベント当日に向け、準備を進める

(2)広報活動実施計画

第2四半期は、8/20（火）に三浦初声高等学校都市農業科の生徒を対象とした処理場見学会を実施した。

計画	2024年4月～2025年3月までの間に2回以上、地域住民や地元教育機関向けに処理場施設見学会を開催
実績及び今後	8/20に三浦初声高等学校都市農業科の生徒を対象とした施設見学会を実施 地域住民向けの見学会を来年2月に予定しており、今後準備を進める

(3) 地元企業の利活用に関する事項

第2四半期は、1件の工事を地元企業へ発注予定であったが、土木一式工事の建設業許可を受けた地元企業該当8社全てが応札辞退したため、地元企業への発注を行えなかった。

計画	以下の工事を地元企業へ発注することを目標に設定する ・改築工事（土木建築と管路施設） ・維持管理関連修繕工事 各種修繕工事（本管、マンホール、公共汚水ます）
実績及び今後	地元企業への工事の発注はなかった 第3四半期に改築工事を4件地元企業へ発注予定である

2-5.任意事業に関する計画

(1) 下水道資源を活用した高付加価値作物の生産事業

第2四半期は、栽培施設での栽培実証に向けた栽培管理を行った。また、神奈川県立三浦初声高等学校と連携したイベントを開催した。

計画	神奈川県立三浦初声高等学校都市農業科及び地元採用の栽培管理従事者とともに、下水熱を利用した栽培施設で作物の栽培実証実験を実施
実績及び今後	プレハブハウスおよび木造ビニールハウスにおける作物栽培を、地元採用の従事者とともに実施（6/26～） 三浦初声高等学校都市農業科の生徒を招き、事業紹介および現地作業のイベントを開催（8/20） 10月以降も高校との定期的な現地作業の実施を計画

(2) B-DASH を活用した省エネ水処理技術導入

第2四半期は、サンプル水の分析に基づく、実証内容の検討と東部浄化センターへの導入方法の検討を行った。

計画	2024年4月～2025年3月までの間に、2025年度以降の国交省 B-DASH 事業応募に向け、関連する機械設備更新計画（メンブレン及び送風機）とのストックマネジメント計画を考慮した導入更新時期に関する調整含め、RBC（回転繊維ユニット）の導入を検討
実績及び今後	サンプル水の分析に基づく、実証内容の検討と東部浄化センターへの導入方法の検討を実施 実証内容を精査するとともに実施時期の計画立案を進める

(3) 技術実証フィールドの提供

第2四半期は、技術実証フィールド事業開始に向けた検討を引き続き行った。

計画	技術実証フィールドの提供開始に向け、事業の運営体制、外部組織との連携、技術の要件定義等の検討を行い、受入体制を整備
実績及び今後	技術実証フィールド事業開始に向け、検討 WG を開催(7/26、9/10) 今後、引き続き社内検討を進めるとともに提案概要書の承諾に向けた三浦市との協議を開始

3.財務管理

3-1.財務状況

【単位：千円】

科 目	2024年度			
	計画(4月～9月) (A)	実績(4月～9月) (B)	差額(4月～9月) (C) = (B) - (A)	(参考) 計画 (2024年度通年)
経常収益				
利用料金	95,294	101,514	6,220	190,587
計画支援報酬	—	—	—	50,930
営業外収益	—	—	—	—
経常費用				
売上原価	72,968	65,009	△7,959	195,475
販売費及び一般管理費	13,357	12,175	△1,182	26,996
営業外費用	3,226	3,218	△7	6,452
経常損益	5,742	21,110	15,368	12,595

【利用料金】

三浦市の予測を計画値としており、収入が計画より約 620 万円上回った。

【売上原価】

① 減少要因

- ・管路及び処理場ポンプ場の修繕費について、計画額約 950 万円に対し約 380 万円の支出に留まったため、約 570 万円の乖離が生じた。
- ・太陽光発電及びデジタル情報基盤に係る費用の発生が第 3 四半期以降になることから約 320 万円の乖離が生じた。

② 増加要因

- ・汚泥処分費について、計画額に対し約 60 万円増加し乖離が生じた。

3-2.2024 年度 KPI（財務管理目標値）の状況

財務管理目標値について、達成状況を報告する。**達成率は、各四半期時点での累積値である。**

項目	目的	目標値	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
経常収支比率	収支バランスの管理・持続可能性の確保	100.0%	168.7%	108.2%		
売上高経常利益率	事業運営の収益性確保	5.2%	24.2%	18.7%		
当座比率	短期的な財務健全性・継続性の確保	120.0%	265.6%	215.2%		
自己資本比率	中長期的な財務健全性・継続性の確保	45.0%	52.9%	49.6%		

4.2024 年度第 2 四半期時点での KPI（財務管理目標値以外の目標値）の状況

財務管理以外の目標値について、報告する。下記の表では、2024 年度末目標値に対する、KPI 達成率を記載している。

項目	内容	年度末目標値	単位	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間計	KPI達成度
【経営】コンプライアンス									
苦情・要望・相談等対応率	市民等から寄せられる苦情・要望・相談事項の対応率	100%	発生件数	4	0			4	100%
			対応件数	4	0			4	
コンプライアンス研修実施率	コンプライアンス研修の年間計画に対する実施率	100%	計画件数	0	1	1	0	2	50%
			実施件数	0	1			1	
災害・事故対応訓練実施率	BCP内の訓練計画の計画に対する実施率	100%	計画件数	2	3	0	1	6	83%
			実施件数	2	3			5	
BCP	BCP見直し・改定回数	100%	計画件数	1	0	0	0	1	100%
			実施件数	1	0			1	
【経営】環境対策									
下水道汚泥リサイクル率	汚泥発生量に対して、堆肥やセメント材料としてリサイクルされた割合	100%	汚泥発生量 (単位：t)	313.32	338.64			651.96	100%
			汚泥利用量 (単位：t)	313.32	338.64			651.96	
臭気・振動・騒音発生件数	臭気・振動・騒音に関する苦情の発生件数	0件	発生件数	0	0			0	0件
【改築】品質管理・安全管理									
改築工事の進捗管理・遅延防止※1	計画に対する年度未完了見込率	100%	達成率	100%	100%				
第三者災害・労働災害発生件数	災害の発生件数	0件	発生件数	0	0			0	0件
【維持管理】運転管理・保安全管理									
放流水質の要求水準達成率※1	放流水質の要求水準達成率	100%	達成率	100%	100%				
汚泥含水率の要求水準達成率※1	汚泥含水率の要求水準達成率	100%	達成率	100%	100%				
管きょ調査率※2	管きょ点検・調査の実施率 (対計画比)	100%	達成率	11%	29%			29%	29%
電力購入量削減率※2、※3	東部浄化センターの電力使用量に対する太陽光発電量の割合	20%	削減率	8%	17%			17%	17%
その他									
ICT導入率※4	ICT導入に関する計画に対する実績値	100%	計画	2	0	0	4	6	33%
			実績	2	0			2	
帳票類電子化率	帳票類の電子化計画に対する実績値	100%	データドリブンによる事業運営の高度化に向けて、帳票類電子化計画を策定している。						

- ※ 1 年度末時点の累計の値で KPI 達成率を判定せず、四半期毎に KPI 達成率を確認している。
- ※ 2 各四半期の達成率は累計を記載している。
- ※ 3 電力購入量削減率については、関係機関との調整の結果、太陽光発電設備の稼働開始が 4 月から 6 月に変更となったため 20%未満となっている。
- ※ 4 ICT 導入率についての計画は下記のとおりである。
 - 第 1 四半期…メール、Web 会議導入の計 2 件
 - 第 4 四半期…岩浦、上宮田 2 号、上宮田 4 号の計 3 箇所のマンホールポンプクラウドサーバー化及び遠隔監視システム導入の計 4 件なお、第 1 四半期は導入済みの ICT 技術も含めた計画、実績数としている。